

7

介護用品工場での 電気式エアークOMPRESSORの導入

介護用品を製造しているこの工場のエアークOMPRESSORは、当初、契約電力とランニングコストの低減のため、ベース機にエンジン式(燃料:A重油)のエアークOMPRESSORを設置していました。

近年の原油価格高騰によりランニングコストも上昇傾向であることから、電気式エアークOMPRESSORへの更新を検討した結果、電気式エアークOMPRESSORへの更新が決定しました。エンジン式については、比較的新しいことから、予備機として残置しました。

エンジン式エアークOMPRESSORから電気式エアークOMPRESSORに更新したことでランニングコストとCO₂排出量の大幅な低減が実現しました。

改善効果

- エンジン式エアークOMPRESSORと比べ、
 - ・ランニングコスト 約220万円/年(約18%)低減。
 - ・CO₂排出量 約110t-CO₂/年(約20%)削減[※]。

設備概要

- 更新後:電気式エアークOMPRESSOR×2台
(75kW(出力), 1台あたりの吐出空気量:12.4m³/min)
- 更新前:エンジン式エアークOMPRESSOR×1台
(電気式の150kW(出力)相当, 吐出空気量:25m³/min)

※電気のCO₂排出係数は0.555kg-CO₂/kWh
A重油のCO₂排出係数は2.71kg-CO₂/L

システム図

